



発行所 ☎730 - 0012
 広島市中区上八丁堀8番10号
 建設業労働災害防止協会広島県支部
 発行人 高見誠一
 TEL(082)228-8250
 印刷所 広島市西区東観音町3番8号
 中外印刷株式会社
 TEL(082)291-4646

定価 40円 送料 60円 毎月1回 10日発行 会員の方は会費に「建災防広島」の購読料が含まれています。 7・8月号

職長・安全衛生責任者能力向上教育が始まりました！

さる6月29日、新しく始まる職長・安全衛生責任者能力向上教育が広島県支部で開催されました。7月6日福山会場でも開催され、以降順次各分会で新しい教育が開始されます。

仕事が忙しく、しかも極端な人手不足という職場環境にあって、現場第一線の職長・安全衛生責任者が、限られた人材と厳しい工期のなか、いかに安全に効率よく仕事を進めていくかは大きな課題となっています。やりくりする作業員が入れ替わる現場で、安全を踏まえた作業の手順を作業員に教え、指導し、監督しながら全体の工程管理、品質管理、安全管理を進め、元方との連絡調整をこなしていく中堅職長・安責の能力向上、レベルアップを図るため、この6月より始まった「職長・安全衛生責任者能力向上教育」の、第1回目の記念すべき開催には、ベテラン職長・安全衛生責任者が参加されました。

初めに、職長・安全衛生責任者として就任した時に受講された14時間の「職長・安全衛生責任者教育」の主要項目について、確認・復習を兼ねた内容に加え、新しく現場で行われる塗装・防水作業等で使用する化学物質の取扱いに関するリスクアセスメントについての追加教育、最近建設業でも注目されているメンタルヘルス対策を、事業場でなく、多くの企業が混在する建設現場に置き換えた安全施工サイクル活動の中に取り入れ、安全朝礼で行う「無記名ストレスチェック」や、KYミーティングを活用した「健康KY」のやり方の解説が新規教育内容として追加されました。

午後から、職長が、いかに配下の作業員の方について安全な作業を行うよう教育し、指示指導ができるようになるか、また、リスクアセスメントを盛り込んだ作業手順書をどのように作成していけばよいか、といった事項について、受講者がグループになって、グループ演習が行われ、まず通達に示されたカリキュラムの「演習」危険予知活動の現地KYのやり方を受講者が「職長」役と「作業員」役数名になったロールプレイング(役割演技法)で演じながら現地KYを行う際のポイントを身に着ける訓練を30分行いました。次に、演習のうち、当日はのリスクアセスメントを応用した作業手順をグループごとに進行リーダー、書記、発表者、他班の質問者に分け、「ドラグ・シヨベルによる一次掘削作業」の作業手順について、役割を決めて作成して発表し、批評し合う演習を1時間行いました。

演習は、時間があっという間に過ぎ、慣れたころには、終了の時間が来てしまい、2時間10分という演習の時間がとても短く感じられました。

講義の後、修了証とともに、建災防本部が作成したヘルメット貼り付け用「職長・安責能力向上」(教育)の修了者用シールも渡されました。

この教育の受講を契機にさらに職長・安責者の能力がレベルアップされれば幸いです。



教育会場の風景

目次	次
職長・安全衛生責任者能力向上教育が始まりました！ 1	国・広島労働局と建災防の建設工事関係者連絡会議
第51回 広島県建設業労働災害防止大会 2	が開催されました!..... 6
技能講習講師連絡会議と安全指導者研修会が	労働災害発生状況 7
開催されました 3	講習・行事コーナー
「墜落防止用の保護具に関する規制のあり方に	(平成29年7月～平成29年10月) 8
関する検討会」の報告を公表!! 4	

第51回 広島県建設業労働災害防止大会

と き 平成29年9月14日(木)

ところ 広島県民文化センター(広島市中区大手町1丁目5-3)

大会プログラム

12:00 開 場

13:20 開 会

黙 禱
開会のことば 副 支 部 長
挨拶 支 部 長
歓迎のことば 広 島 市 長
表彰経過報告 表 彰 選 考 委 員
表 彰 支 部 長
祝 辞 広 島 労 働 局 長
中国地方整備局長
広 島 県 知 事
建設業労働災害防止協会長

14:30

安全の誓い 副 支 部 長

フィンガーチェック事例発表

15:00

記 念 講 演 「集中力を高めてエラーを防ぐ! 食べ方のコツ
~ボンヤリ・ウっかり・エラーを防ぐには~」

管理栄養士・野菜ソムリエ協会講師 中 沢 る み(なかざわ るみ)

16:00(予定)

閉会のことば 副 支 部 長

(記念講演講師のプロフィール)

中 沢 る み (なかざわ るみ) 【管理栄養士・野菜ソムリエ協会講師】



【略 歴・経 歴】

学校や野菜ソムリエ協会にて栄養学を教える。
企業、労働組合、健保組合、学校、PTA、J A、婦人団体など全国各地で
年間100回以上講演を行う。
農林水産省後援「全国家庭料理コンテスト」の審査員や「食育シンポジウム」
のコーディネーターを務める。

【著 書】 ・『5色の野菜 カラダ革命』(静山社)
・『野菜の新常識 体にいい食べ方はどっち?』(扶桑社)

【栄養監修】 ・『健康応援レシピ1000』(任天堂DS)
・『佐伯チズ 美肌食』(講談社)他雑誌など出版物で食材の効用やレシピを紹介している。

【主なマスコミ活動等】

- ・ラジオ大阪「おいしくアンチエイジング」
- ・サンテレビ「カラダにいいメニュー」レギュラー出演し、食材のパワーや不調を解消するレシピを紹介
- ・野菜ソムリエとして生産者やレストランシェフと一緒に野菜の魅力を伝えるセミナーやイベントを開催
- ・県産食材魅力向上プロジェクトのメンバーとして特産物を使った地域活性にも携わる

技能講習講師連絡会議と安全指導者研修会が開催されました

6月23日、広島パシフィックホテルにおいて、午前に建災防の技能講習の講師を対象とした連絡会議を、午後から県内の安全指導者を対象とした研修会を開催しました。当日は講師連絡会議に21名の講師、また安全指導者研修には59名の安全指導者の方が参加されました。

午前の講師連絡会議には広島労働局健康安全課の登録教習機関の担当官より、技能講習実施に関する労働局の監査指導結果等について説明があり、その後事務局より支部の講習・教育を含む事業計画、年間の講習・教育の実施状況、本部の技能講習に関する監査結果の状況、今年度新たに始まる職長・安全衛生責任者能力向上教育など新しい教育について説明が行われました。そのあと、技能講習等に対する受講者のアンケートを開始したこと、平成30年度から一部の技能講習について、3択又は4択の問題回答様式に変更されることなどについて意見交換をしました。

午後から同ホテルで開催された、安全指導者研修会では、広島労働局健康安全課三宅衛生主任から県内建設業の労働災害の分析内容と防止対策等について講演があり、その後昨年7月に中国ブロックを担当する本部の広島駐在安全管理士落合正典氏から安全管理士が行ったパトロール結果をもとに、安全指導者がパトロールをする場合の視点、指摘方法と改善指導の方法等について、多くの工事現場の写真等を基に懇切丁寧な説明がありました。

最後に支部の専務理事・事務局長から、新年度より安全指導者の活動をより活性化するために国の事業が開始され、統括安全指導者が、広島県支部を含め全国15支部に委嘱され各分会の安全指導者との連携や協力を強化して行くことが説明されました。また、厚生労働省の「個人用保護具に関する検討会」報告書が公表され、今後フルハーネス型安全帯の構造規格を定めたあと、原則として一定高さの箇所では安全帯を使用して作業する場合には、フルハーネス型安全帯を使用すること、フルハーネス型安全帯を使用する作業員に対する安全帯使用の特別教育が予定されていること等の情報提供がありました。



講師連絡会議の状況



安全指導者研修会の状況

「墜落防止用の保護具に関する規制のあり方に関する検討会」の報告を公表!!**検討会の背景について**

厚生労働省は6月13日、国際基準に適合するフルハーネス型安全帯を、墜落防止用保護具にすることを原則とすること等を取りまとめた標題の報告書を公表しました。

労働安全衛生法では、高さ2m以上での作業時には、作業床、柵等を設けることが規定されていますが、その設置が困難な場合は「安全帯の使用」なども認められています。

しかし、従来の胴ベルト型安全帯は墜落時の衝撃による内臓の損傷、胸部の圧迫などの危険性が指摘されていました。一方国際規格では、今や胴ベルト型ではなくフルハーネス型安全帯が採用されていることから、今回の報告書では、「墜落時の身体保護の観点から、フルハーネス安全帯を原則とすべき」などとされました。

今後の改正の動き

厚生労働省では、今回の報告書を受け、安全帯に関するJIS規格の改正作業を進め、その進捗具合を踏まえつつ、平成29年度から平成30年度にかけて、関係法令などを改正する予定とされています。(検討会は平成28年11月7日第1回、以降平成29年6月1日第4回を最後に取りまとめが行われています。)

○胴ベルト型安全帯の使用による死亡災害が発生

検討会、規則改正の動きの背景として、平成18年から10年間で、胴ベルト型安全帯で宙づりとなり圧迫死となった事例が6件発生していること。

安全帯使用時の墜落災害は、平成22年から5年間に170件、うち宙づり、墜落中に梁などに衝突した事例が10%、ランヤード切れ、安全帯が脱げた事例が9%、安全帯を使用していたが地上などに衝突した事例9%などがあり、一方、U字つり胴ベルト型安全帯をしていた際の墜落災害は、平成27年で15件、うちU字つりランヤードが緩み墜落事例33%、フックが外れる事例が66%ある。

国際的な動向について

ISO規格、欧州規格、米国安全衛生庁(OSHA)規則などでは、墜落防止用保護具は、

フォールアレスト用保護具(フルハーネス型安全帯)

ワークポジショニング用器具(電柱などの二丁掛安全帯の様なもの)

レストレイント用保護具(移動距離を制限するもの)

の3つに分類される。胴ベルト型安全帯の使用事例はない。

新たな規制の基本的な考え方について

フォールアレスト用保護具での身体保持(胴ベルトでなくフルハーネス型を原則とする。)を原則とする。

一方でフルハーネス型は胴ベルト型と比較して一定程度落下距離が長くなるため、墜落時にフルハーネス型着用者が地面に到達する場合等への対応として「一定条件に適合する胴ベルト型安全帯を認めるべき。」

U字つり用胴ベルトの位置づけとして、今後ワークポジショニング用器具として位置づけ、U字つり用胴ベルト使用時には、バックアップとして、フォールアレスト用保護具を併用すべき。

「その他の命綱」の位置づけ

現行で規定されている「その他の命綱」については、レストレイント用保護具として位置づけるべき。

墜落防止用の個人用保護具に関する労働者教育のあり方

墜落災害では、安全帯の不使用が多く（95％）使用時の使用方法が不適切なものが多い。このため、墜落防止用保護具を使用している労働者に対する教育を強化すべき。

教育を行う対象の作業

高さ2m以上の作業箇所（作業床の端、開口部等を除く）において、作業床を設けることが困難な場合に、フルハーネス型安全帯を用いて行う作業を行う者に対する教育を行う。

特別教育カリキュラム

（学科）

科 目	範 囲	時 間
作業に関する知識	<ul style="list-style-type: none"> 作業に使用する設備の種類、構造及び使用方法 作業方法及び順序等 	1時間程度
フルハーネス型墜落防止用保護具に関する知識	<ul style="list-style-type: none"> 保護具の種類・構造 ランヤードの種類・構造、 取付設備の種類・構造 	1時間程度
フルハーネス型墜落防止用保護具の使用方法に関する知識	<ul style="list-style-type: none"> 保護具の装着方法、 取付設備の使用法等、ランヤードの選定方法 点検及び整備等 	1時間程度
労働災害の防止に関する知識	<ul style="list-style-type: none"> 墜落災害防止の措置 落下物、感電による危険防止の措置 事故時の措置等 	1時間程度
関係法令	<ul style="list-style-type: none"> 労働安全関係法令 	0.5時間程度

（実技）

科 目	範 囲	時 間
フルハーネス型墜落防止用保護具の使用方法	<ul style="list-style-type: none"> 保護具の装着 取付設備の使用など 保護具の点検及び整備 	1.5時間程度

詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください。

国・広島労働局と建災防の建設工事関係者連絡会議が開催されました！

去る、6月28日(水)午後より広島合同庁舎において、国土交通省中国地方整備局、広島労働局、建災防広島県支部など「公共発注機関・労働行政機関・建設業労働災害防止団体」の三者が同時に参加して、工事の安全衛生に関し緊密に連携して防止対策を進めていくことを目的とした、「建設工事関係者連絡会議」が開催されました。

会議開催の背景等について

これは、公共機関発注工事の安全対策については、東京オリンピック関連工事の本格化等に伴い全国的に人手不足が深刻になり、地方の人材確保、現場管理に支障が出る懸念があることから、連絡会議を設置して、安全衛生に配慮した発注の促進、三者が連携を図っていくことを目的とした会議を開催するものです。県内の工事関係者の極端な人手不足状況を背景に対策を協議していくもので、事務局は労働局が担当されています。平成27年度から、開催され今年で3回目になります。建災防広島県支部は、県支部常任委員のメンバー2人と事務局長が参加しました。

会議の内容について

会議の事務局、広島労働局の鈴木労働基準部長から、最近の建設業の労働災害について、今年は増加傾向にあり、人手不足も相まって第12次労働災害防止計画の目標達成も危うい状況にある中で、発注者機関、建設団体と連絡会議を行うことは有意義であり、現場の状況と対策について意見交換しながら、三者が連携して災害防止に努めたい、と挨拶があり、また法宗健康安全課長から、建設の現場で外国人技能実習生が負傷する重大災害が発生したが、クレーン仕様の車両系建設機械の玉掛け作業無資格、小型移移動クレーン運転無資格、建設機械との接触防止措置がないなど重大な違反が認められた、この様な事例が起こらないよう、特に外国人労働者対策に留意してほしいと注意喚起がありました。

第3回目の今回は、各発注機関から、現在取組んでいる協議会、パトロール等の安全対策の状況、熱中症対策の状況等についてそれぞれ発表があり、建災防は安全指導者の行うパトロール、支部・労働局の合同パトロールに加え、独自の運動として県下で行っている「建設業フィンガー・チェック運動」の説明、熱中症対策の先進事例等について説明しました。

協議に入り、建災防から公共事業入札資格に関し建災防加入の有無について、加入の場合加えられる公共機関とそうでない機関があり、建災防非会員の事業者が圧倒的に多く、しかも死亡災害の多くは非会員から発生しており、建災防に加入し安全活動が活性化されるよう支援協力を要請、 昨年の斜面崩壊防止ガイドラインも発注者の配慮を要請する項目がありましたが、今年から開催される職長・安全衛生責任者能力向上教育のように法定外の教育でも現場の管理監督者のレベルアップのために必要であり、発注者からも受講を推奨していただくよう要望事項を提出しました。また、社会保険加入制度の実施、週休2日制モデル事業の実施に伴う発注者の対応について質問をしました。

7月11日には、広島県、広島労働局、建災防広島県支部との会議を予定しています。

平成28年・29年 建設業における事故の型別労働災害発生状況 (労働者死傷病報告による)

広島労働局 (平成29年5月末)

事故の型別	墜落	転落	転倒	激突	飛来	崩壊	激突	はき	はき	切れ	踏み	高温・低温	有害物質	感電	火災	交通事故	動作の	その他	合計		
平成28年	50	17	10	8	(1)	4	3	10	5	0	0	0	0	0	0	2	8	0	(1)	117	
平成29年	41	(1)	17	4	8	0	4	9	6	0	0	0	0	0	1	(2)	5	7	2	(3)	104

() 内は、死亡の内数

平成28年・29年 全産業・建設業・署別労働災害発生状況 (労働者死傷病報告による)

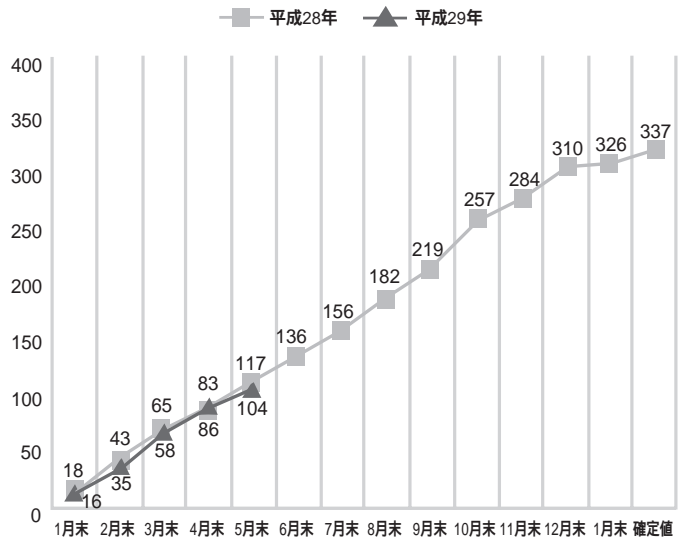
広島労働局 (平成29年5月末)

監督署別	全 産 業							建 設 業							対前年増減数	対前年増減数 (%)	建設業 / 全産業 (%)
	平成28年			平成29年			増減数	平成28年			平成29年						
	死亡	休業	死傷計	死亡	休業	死傷計		死亡	休業	死傷計	死亡	休業	死傷計				
広島中央	0	291	291	0	280	280	-11	0	33	33	0	26	26	-7	-21.2	9.3	
呉	1	91	92	1	87	88	-4	0	7	7	0	7	7	0	0.0	8.0	
福 山	2	204	206	5	214	219	13	1	28	29	2	24	26	-3	-10.3	11.9	
三 原	1	51	52	2	68	70	18	0	5	5	0	17	17	12	240.0	24.3	
尾 道	0	61	61	2	74	76	15	0	11	11	0	9	9	-2	-18.2	11.8	
三 次	0	52	52	1	58	59	7	0	11	11	1	7	8	-3	-27.3	13.6	
広島北	0	109	109	1	99	100	-9	0	12	12	0	8	8	-4	-33.3	8.0	
廿日市	0	96	96	1	79	80	-16	0	9	9	0	3	3	-6	-66.7	3.8	
合 計	4	955	959	13	959	972	13	1	116	117	3	101	104	-13	-11.1	10.7	

広島県の建設業死傷災害月別発生状況の比較

平成28年・29年5月末発生

	28年	29年	増減%
1月末	18	16	-11.10
2月末	43	35	-18.60
3月末	65	58	-10.80
4月末	83	86	3.60
5月末	117	104	-11.10
6月末	136		
7月末	156		
8月末	182		
9月末	219		
10月末	257		
11月末	284		
12月末	310		
1月末	326		
確定値	337		



平成29年度講習計画

(平成29年7月～平成29年10月末までの計画)

建設業労働災害防止協会広島県支部

建設工事に従事する労働者の
ための安全衛生教育
「建設従事者教育」(6時間)
*要請により、随時実施(支部)

作業主任者技能講習の日程

足場の組立て等	実施場所	担当分会	型枠支保工の組立て等	実施場所	担当分会	コンクリート橋架設等	実施場所	担当分会
7月20～21日	福山市	福山	10月11～12日	広島市	広島	8月2～3日	広島市	広島
26～27日	広島市	広島						
8月8～9日	三次市	三次	木造建築物の組立て等	実施場所	担当分会	鋼橋架設等	実施場所	担当分会
24～25日	尾道市	尾道	8月23～24日	広島市	広島	9月7～8日	広島市	支部
9月6～7日	呉市	呉						
10月25～26日	広島市	広島	コンクリート造の工作物の解体等	実施場所	担当分会	建築物等の鉄骨の組立て等	実施場所	担当分会
			8月21～22日	福山市	福山	9月21～22日	福山市	福山
地山の掘削及び土止め支保工	実施場所	担当分会						
10月17～19日	広島市	広島						

特別教育日程

足場の組立て等(6時間)	実施場所	受付分会	ローラ運転業務	実施場所	受付分会	低圧電気取扱業務	実施場所	受付分会
7月13日	福山市	福山	9月11日	福山市	福山	7月25日	広島市	広島
8月30日	広島市	広島						
9月4日	福山市	福山	高所作業車運転業務	実施場所	受付分会	巻上げ機(ウインチ)運転	実施場所	受付分会
26日	呉市	呉	7月25日	福山市	福山	8月17日	広島市	広島
10月18日	尾道市	尾道				10月16日	福山市	福山
30日	広島市	広島						
			ロープ高所作業(学科のみ)	実施場所	受付分会	自由研削砥石取替え等業務	実施場所	受付分会
			8月8日	広島市	広島	9月25日	福山市	福山
			10月13日	呉市	呉	10月24日	広島市	広島

特別教育に準じた教育日程

振動工具取扱作業従事者	実施場所	受付分会	丸のこ取扱い作業従事者	実施場所	受付分会
10月19日	福山市	福山	9月28日	広島市	広島
			10月4日	福山市	福山

統括・職長等各種教育日程

現場管理者統括管理	実施場所	受付分会	職長・安全衛生責任者教育	実施場所	受付分会	斜面点検者教育	実施場所	受付分会
9月5日	三次市	三次	7月19～20日	広島市	広島	8月29日	呉市	呉
			8月3～4日	福山市	福山	9月27日	広島市	広島
足場能力向上教育 足場点検実務者研修	実施場所	受付分会	9月12～13日	広島市	広島	10月10日	三次市	三次
10月20日	呉市	呉						
			熱中症予防指導員・管理者	実施場所	受付分会	新総合工事業務のリスクアセスメント	実施場所	受付分会
			7月27日	福山市	福山	9月21日	広島市	広島
足場能力向上教育のみ	実施場所	受付分会						
10月25日	福山市	福山						

*詳細につきましては、支部及び各分会にお問い合わせください。
なお、定数に満たない場合は中止、または、延期する場合があります。

建災防広島県支部 (082) 228 - 8250

広島県支部各分会

広島分会 (082) 228 - 8252
呉分会 (0823) 22 - 6886
福山分会 (084) 924 - 4320

三原分会 (0848) 63 - 9920
尾道分会 (0848) 22 - 8918

三次分会 (0824) 62 - 4391
廿日市分会 (0829) 31 - 0196

ホームページアドレス

建災防広島県支部 <http://www.jcosh-hiroshima.jp/>
建災防広島県支部広島分会 <http://www.jcosh-hiroshima.jp/hirosimabunkai/>
建災防広島県支部福山分会 <http://fukubun.sakura.ne.jp/>
建災防広島県支部三次分会 <http://ww7.enjoy.ne.jp/~khm62/>